

電気の安全使用で キャラバン隊訪問

さいたま市長にアピール

エアコンなどの電気使用が増える夏場に安全知識を広めてもらうこと、県電気工事工業組合大宮支部のキャラバン隊が26日、さいたま市役所を訪問。清水勇人市長に地震発生時に機能する感震ブレーカーや、漏電遮断器、避雷器の普及をアピールした。

8月は電気使用安全月間に指定されており、同組合はパンフレットやうちわなどを配布して市民に安全対策をPRしている。同支部の佐藤隆行



さいたま市の清水勇人市長(右)に電気の安全使用キャラバンの趣意書を渡す県電気工事工業組合大宮支部の佐藤隆行支部長(左)。さいたま市役所

支部長(50)は「落雷により分電盤から電気が逆流して家

電製品を壊してしまふことがあるが、避雷器を取り付けることで防ぐことができる」と説明。

異常電圧があつた場合は、漏電遮断器が電気を止めて火災や感電事故を防止できるなど、安全対策のポイントを紹介した。清水市長は「地域の防災計画作成の中で、各地区の方々にお知らせしていきたい」と話した。

キャラバン隊は同市の北、西、見沼、大宮、中央の各区役所をそれぞれ訪問。8月23日には同組合川口支部が川口市役所などを訪問する予定。

(高橋功)

埼玉電工組大宮支部

電気使用安全訴える

キャラバン隊各市区訪問



清水さいたま市長(右から5人目)に趣意書を手渡したキャラバン隊

埼玉電工組(佐藤隆行支 部長)は7月26日、電気啓発活動として電気安全啓発キャラバン隊を編成し、さいたま市長のほ

か、北区、西区、見沼区、大宮区、中央区の各区長を訪問した。経産省は電気事故が発生しやすい8月を「電気使用安全月間」と定めており、その運動の一環として今回の巡回が行われた。キャラバン隊を率いた佐藤支部長は、訪問先で運動の趣旨を記した趣意書を各市区長に手渡し、啓発活動が成果を挙げられるよう協力を求めた。

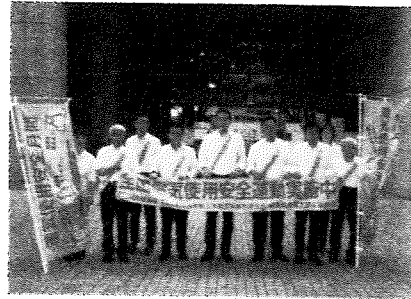
清水市長を訪ねた際は、震災火事の原因に電気事故が多いことを挙げ、揺れを感知すると自動的に電気を止める感震ブレーカーを紹介。県が行う燃えないまちづくりの推進を例に、市でも震災時の避難区域などで感震ブレーカーの設置推進を行うよう要請した。そのほか、電気事故予防のポスター掲示、漏電遮断機などを紹介したパンフレットとポケットティッシュの配布も依頼。

佐藤支部長は「文化的な生活を営む上で欠かせない電気エネルギーだけに、電気事故が多い8月にこうした運動を行う重要性を再確認した」と話し、市の取り組みに期待を寄せた。

埼玉電工組大宮支部キャラバン隊

さいたま市を訪問

電気使用安全月間キャンペーンで



さいたま市役所前で集合写真

意書、ポスター、チラシ、ポスターなどを詳しく説明しながら手渡し、地域の防災計画作成の中心意書を読み上げ「8月で、各地区の方々にお知らせしていききたい」など頼した。

当日午前9時30分、大宮支部に参加者が集合し、佐藤支部長は「本日は各自自治体に電気使用安全月間の趣旨を説明いた

だき住民の皆様が電気を安心して利用できるよう啓発活動に取り組みましょう。また梅雨が明けた後にもかわらず、雨模様の中、車での移動になる。くれぐれも運転には注意してください」とあいさつした。

さいたま市役所では清水勇人市長に面会し、佐藤支部長がパンフレット、ポスターなどを詳しく説明し、地域の防災計画作成の中心意書を読み上げ、各地区の各区長に面会し、

「地震の際に自動的に電気を遮断する感震ブレーカーはもろろんの事、近年頻発している、ゲリラ豪雨の際に発生する雷に

対し避雷器の事についても詳しく説明した。雷による発生する雷サージャからパソコンや家電製品を守る事ができます。トティッシュを配布し電

気使用安全を呼びかけたい」と要請した。これ

に對して清水市長は「地域の防災計画作成の中心意書を読み上げ、各地区の各区長に面会し、

「地震の際に自動的に電気を遮断する感震ブレーカーはもろろんの事、近年頻発している、ゲリラ豪雨の際に発生する雷に

対し避雷器の事についても詳しく説明した。雷による発生する雷サージャからパソコンや家電製品を守る事ができます。トティッシュを配布し電

気使用安全を呼びかけたい」と要請した。これ

に對して清水市長は「地域の防災計画作成の中心意書を読み上げ、各地区の各区長に面会し、

「地震の際に自動的に電気を遮断する感震ブレーカーはもろろんの事、近年頻発している、ゲリラ豪雨の際に発生する雷に

対し避雷器の事についても詳しく説明した。雷による発生する雷サージャからパソコンや家電製品を守る事ができます。トティッシュを配布し電

埼玉県電気工事工業組合大宮支部（佐藤隆行支部長）はこのほど、経済産業省が主催して毎年8月1日から31日までの間に実施している「電気使用安全月間」に、電気使用の安全啓蒙・啓発するためのキャラバン隊を編

成してキャンペーン活動を行った。

同支部管内のさいたま市役所、さいたま市北区、西区、見沼区、大宮区、中央区の自治体に対して、さいたま市長はじめ、各区の区長に面会し、佐藤支部長がパンフレット、ポスター、チラシ、ポスターなどを詳しく説明しながら手渡し、地域の防災計画作成の中心意書を読み上げ「8月で、各地区の方々にお知らせしていききたい」など頼した。

キャラバン隊が活動

埼玉電工組
大宮支部 電気安全を啓発

埼玉真電気工事工業組合(沼尻芳治理事長)の大宮支部は、8月の電気使用安全月間に際し、キャラバン隊による啓発活動を実施した。担当区

域内を巡り電気の安全な取り扱いをアピール。さいたま市役所をはじめ北、西、見沼、大宮、中央の各区役所を訪問し、市長や区長に月間活動な

どへの協力を要請した。さいたま市役所では、

佐藤隆行支部長が消水勇人市長に対して安全月間の趣旨を読み上げ、ポスターやパンフレットなどを手渡すとともに、市民への啓発活動などへの協力を要請した。佐藤支部長は、埼玉県が燃えない

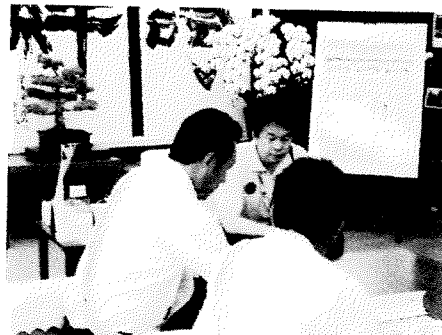
まちづくりを推進していることに触れ「地震発生時の火災は、電気が原因であることが多い。避難場所ともなる学校や病院の周囲が火災になったら避難できない」と指摘。

その上で「そうした場所に感震ブリーカーの設置を市としても推進して頂ければ」と、具体的な注意を呼び掛けた。

電気使用安全月間キャンペーン 埼電工組大宮支部がキャラバン隊を 編成、さいたま市等を訪問!!

埼玉県電気工事工業組合

埼玉県電気工事工業組合(さいたま市：沼尻芳治理事長)の大宮支部(佐藤隆行支部長)は、7月26日(水)、経済産業省が主唱して毎年8月1日から31日までの間に実施している「電気使用安全月間キャンペーン」に、電気使用の安全啓蒙・啓発をするため、キャラバン隊を編成、さいたま市をはじめ各区役所を訪問、ポスター、チラシを手渡し理解と協力をお願いしました。



清水さいたま市長(中央)に趣旨等を説明する佐藤支部長